

法律相談,税金相談

ともに11/25水

インボイス相談も
同日に受け付けます。

詳しくは支部へお問合せ下さい。



けんせつ北部

(購読料は組合費の中
に含まれています。)

定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋 5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日



恒例となった「分会対抗ソフトボール大会」を10月4日(日)に、支部より徒歩5分の距離にある西池袋中学校のグラウンドを借りて開催しました。天気にも恵まれ各分会から大勢の参加でおおいに盛り上がりしました。応援団を含めて全分会で72人の参加でした。勝敗の結果は、上池袋本町分会と連覇を目指すさくら分会が決勝で対決し、優勝は上池袋本町分会でした。

ソフトボール大会のあと、場所を池袋パルコ屋上に移してビアガーデン

中間決起集会を行いました。ソフトボール大会後は用事で帰る仲間もいれば、BBQからの参加者もいて、総勢77人での中間決起集会となりました。ソフトボール大会の表彰式では優勝の上池袋本町分会に加え、MVPに同分会の奥田敏也さんが選ばれました。

また、拡大後半戦に向けた決意表明では、各分会から代表者が目標達成に向けての意気込みを語り、大いに盛り上がりしました。最後は遠藤副委員長の掛け声で「団結ガンバロー」を三唱して、お開きとなりました。



ソフトボール大会のあとは、BBQ会場で中間決起集会を開催

「ナイスミドルの会」
独自訪問行動の取り組み

ナイスミドルの会 会長:太田孝司(南池袋分会)



左から白井分会長(池袋分会)・太田会長(南池袋分会)・櫻井さん(事業所分会)・桑山副委員長(椎名町分会)

積極的な声かけで「つながり作り」を意識した取り組みを進めるなか、後継者以上シニア未満(50歳以上64歳まで)の仲間たちの新たな結集軸として「ナイスミドルの会」を立ち上げ積極的な活動を行っています。

年齢的に子育てや仕事も落ち着き、ある程度時間に余裕ができたミドル世代をターゲットにして結集をはかるべく、秋の仲間づくり運動に合わせた独自訪問行動を9月・10月に行いました。11/28(土)開催の「ビリヤード交流会」案内チラシを持って仲間を訪問し、同年代ならではの対話で盛り上がり距離を縮めます。分会や事業所の垣根を越えて同世代で交流し、そこから組合活動への参加・協力の声かけができればと思います。



どけんカードに変わりました



どけんカードサイトのトップページ

どけんファミリーカードは今年の4月から、どけんカードに名称を改め、形態もプラスチックカードは廃止し電子カードになりました。「どけんカード」のサイトにスマートフォン等でアクセスして、パスワードを入れてどけんカードを表示させて、レジで見せて割引してもらってください。右のQRコードからどけんカードのサイトへアクセスできます。また、今年のパスワードは「TD2026」です。スマートフォンをお持ちでない方は、どけんカードを紙に印刷したものを店舗で提示してください。





(左・上)クロスの貼り方、パテの塗り方を説明する遠藤さん
(下)自動紙糊付け機の使い方を説明する遠藤さん

西池袋中学校職場体験

全面クロス張替え作業に興味津々

2024年より豊島支部有志たちが、西池袋中学校が主催する「もちつき」のお手伝いをこの2年ほどさせてもらっていました。豊島支部こども食堂開設に多大な協力をいただいた、NPO豊島子どもWAKUWAKU

ネットワークの栗林会長の御紹介によるものでした。同校のOBである組合員が多くいることや、木工教室などを学校で開講させてもらい、若い世代の入職者が減少する建設業へ、若者の目を少しでも向けさせたいと

言う思いがありました。今年の1月、2回目のもちつきの際に、そうした要望を校長先生にぶつけたところ、同校では職場体験(OJT)を実施しており、そうした形でなら協力できるのではないかと、担当教諭の町先生を紹介して下さいました。その後、町先生と豊島支部とで職場体験についての具体的な話合いがもたれ、今年9

月7日から9日までの三日間、3人の生徒さんたちに実習生として支部会館会議室の全面クロス貼り換え作業を手伝ってもらうことで決まりました。内装・畳職人である遠藤副委員長が豊島支部会館管理委員会より、同工事を請け負い3人の生徒さんに手伝ってもらいながら、全壁面のクロスの張替え工事を行いました。

職場体験の感想

先日はお忙しい中、私たちのためにお時間をいただき、有難うございました。私は、元々父や母などの影響で日曜大工や建物自体に興味があったため、東京土建での体験を希望しました。

実際に体験してみると綺麗に仕上げるだけではないことなどがよく分かりました。事前訪問に伺ったとき、職人さんから直々にご指導頂けると知り、とても驚いたと同時に少し不安もありました。なぜなら、私は人との会話が少し苦手なので、迷惑をかけてしまうのではないかと考えていたからです。その時に担当の皆様が笑顔で接して下さいたことがとても嬉しかったことを覚えています。そのおかげで私は今回の三日間、自分自身でも自然と笑顔で過ごすことが出来ていたと思っております。私が特に今回の職場体験で学んだことは笑顔で人と接する大切さです。作業をする上での安全の確保や丁寧さも確かに大切なことだと感じましたが、ですが、人と、笑顔で作業する達成感から私はこのような楽しい職場で将来働きたいという気持ちになりました。そのために、これからの学校生活で笑顔で人と接することを心がけ、苦手な会話をすること改善出来るように頑張ります。

朝夕は、めっきり涼しくなりました。お忙しいとは思いますが、皆さまお体を大切に下さいます。

(AKさんより)

先日はお忙しい中、私たちのためにお時間をいただき、有難うございました。私は、元々建設業に興味があったため、東京土建での体験を希望しました。実際に体験させて頂いたと、デザインをする人がいたり、運搬する人がいたり、工事だけが仕事ではないということがよくわかりました。

私が、今回の体験で特に印象に残っていることは、クロス剥がしとクロス貼りです。なぜならクロス剥がしでは、力を入れ過ぎないようにとコツを教えてください、クロス貼りでは部屋がどんどんきれいになっていくのが楽しかったからです。

今回の体験で建設業で働きたいという気持ちが一層強くなりました。これからも学校の勉強に一生懸命取り組み、将来の夢に近づけるように頑張ります。朝夕は、めっきり涼しくなりました。お忙しいとは思いますが、皆さまお体を大切に下さいます。

(RTさんより)

先日はお忙しいところ、私たちのためにお時間をいただき、有難うございました。実際に体験させて頂くと、壁の修理や壁紙を貼ることをさせて頂いていただき、細かい部分まで気をつけながら作業する難しさや大切さを学びました。初めての作業で難しかったですが、そこで様々な技術をやさしく教えてくれた皆様にはとても感謝しています。この体験で学んだことを生かして、これからも学校生活にも一生懸命取り組みます。朝夕は、めっきり涼しくなりました。お忙しいとは思いますが、皆さまお体を大切に下さいます。

(JRさんより)

職場体験の日から、早くも1か月が経とうとしております。その後、学校での勉強など、さまざまなことを楽しみながらお過ごしでしょうか。職場体験に参加してくださった生徒の皆さんからの感謝のお手紙を、私と役員で拝見し、皆、大変感謝しておりました。

私が初めてお伝えした「笑顔であいさつ、笑顔でお疲れ様でした」という言葉を忘れ

ずにいていただければ、今回の職場体験は大変有意義なものになったことと存じます。将来、建設業に携わっていただけたら、大変うれしく存じます。これからますます寒さが厳しくなつてまいりますので、体調に気を付けながらお過ごしください。また、いつかお会いできる日を楽しみにしております。

遠藤正行豊島支部副執行委員長 上池袋本町分会

平和特集号に寄せて

豊島支部教宣部

その2

アンケート(要約)

2026年2月に始まったイラン戦争は、同月イランがホルムズ海峡を軍事封鎖したことで、石油化学製品の原料となるナフサの調達に支障が生じるなど、オイルショック以来の経済的混乱を世界に招いています。

質問① この数か月の間で、資材・材料の調達に不便は生じていますか?また、それらの値段に変化はありましたか?

質問② 質問1で不便が生じている、値段の変化があると答えた方は、こうした事態があなたの仕事や生活にどのような影響を与えていますか?また、こうした状況にどのように対応していますか?

質問③ イラン戦争の悪化は、原油高や物流コストの上昇を招き、エネルギーや日用品の物価上昇を引き起こしました。これにより家計負担が増加し不景気感を強めています。こうした状況を肌で感じて、戦争に対する考え方や平和への思いに変化はありましたか?

質問④ 2026年6月に国民投票法改正案が衆議院を通過しました。政府・与党は、憲法9条に自衛隊を明記することを目指しています。自衛隊が憲法上の正式に認められることで、同盟国の軍事行動への参加や、海外での武力行使を伴う活動、事実上の海外派兵が可能になるのでは?との懸念も示されています。あなたは憲法改正についてどう思いますか?

質問⑤ 中東情勢の悪化によって、7月は2500品目以上、10月は3150品目以上の飲食料品が値上がりし、私たちの生活を圧迫しています。それまで戦争や紛争は対岸の火事としていた日本人に対して、多くの気づきをもたらしました。また、憲法改正が現実味を帯びてきたことを含め、戦争とその対極にある平和について、見方や考え方に変化があったら教えてください。

質問⑥ 戦争をしない、させないために、日本は国際社会の中でどのように行動するべきだと思いますか?大変難しい問いですが、ぜひ考えてみてください。

●62歳 配管工 ①今のところ大丈夫です。前もって材料は確保してもらっています。値段は見積りの価格でやってもらってます。④時代の変化に応じた対応が必要だが、人権は守るべきだと思う。⑥外交と信頼関係

●42歳 塗装工 ①材料の値段は1.5倍になった。注文

できない材料がある。②見積が出せない。価格を転嫁できない。③国は対応してくれない。新しいシステムが必要だと思う。④米国に配慮すぎ。イランと日本が直接対話すれば問題は無かった。米国の石油を買いただけではないのか?⑤石油製品の中でガソリンのみに補助を出し続けて、国内の企業は弱くなる一方。⑥経済大国として、しっかり立ち位置を意識して欲しい。

●53歳 石工 ①材料費があがった。②通常の利益が得られなくなった。見積単価をあげた。③すこしでも無駄をなくそうと思った。④政府の判断にゆだねる。⑤他国の戦争でも、自国に大きな影響があると認識した。⑥他国の意向に従事せず、自国の在り方を主張した方が良い。

●65歳 左官業 ①いつも通りの調達は出来ず、値段は一時的に上げてくる②値段は上がっているの、お客様にはその度に対応してもらっている③世界中の何処かで争いがある事によって品不足が生じる。戦争や争いが少ない方が良いが、多少はしょうがないと思う。平和に対しては、各自の努力が必要だと思う④憲法は守るべき、拡大解釈などは一番いけない。法に則って法の元にやるべき。一時的な流れで高市自民党に票を入れる、国民に責任がある ⑤質問4でも答えたが、一時的な流行り、流れなどで一票を入れることに問題がある。SNSとか。⑥日本はイラン、アメリカ両国の考え方が分かんと思う。しかし日本は敗戦国なので最後はアメリカに付いて行くしか無い。その範囲内で、イランに復興支援など手柄を作る方が良いと思う。

●77歳 塗装工家族 ①前より調達できないほどではないが、資材価格は上がっている。②仕事が減るだけではなく、生活費も上がっているため将来への不安が大きくなった。買い物をするときも価格を気にすることが増えた。③戦争は遠い国の問題だと思っていました。市民の生活を苦しめる戦争はやるべきだと思う。④憲法改正については、国民一人ひとりが理解し、慎重に判断することが大事だと思う。将来世代のためにするべきだと思う。⑤日本には軍事だけではなく、外交や経済協力で平和へ貢献する役割があると思う。

「あたりまえだった『平和』を今まで以上に希求」
今年の2月、イラン戦争が勃発し3月の終わりごろから始まったナフサショック。その影響は半年以上たった今でも続いています。防水業を営んでいる自分もまさかこんなに大きな影響を受けるとは思っていませんでした。今回、中東情勢による影響や戦争のことなどについてアン

先月号からの続きである、平和アンケートへの回答を掲載します。教宣部会では、8月平和特集号発行にあたり、平和についての考察のため、建設業に従事する仲間やその家族に、現在進行中の「2026年イラン戦争」による、仕事や生活への影響を聞き取りながら、戦争や平和について記事にまとめました。

ケートや聞き取りをおこない、人々の思いを調査しました。今回のナフサショック、大きく分けて3つに分類されます。1つは資材の調達・値段に大きく影響を受けた人、もう一つは直接資材調達の影響があったわけではないが現場の遅れや延期などによって間接的に影響を受けた人、最後はほぼ影響がなかった人。この三通りにおおよそ集約され、それぞれの立場で微妙に戦争や平和に対する思いが違う結果になりました。大きく影響を受けた人はコロナや震災を超える大変さだったと答える人が多かったです。とにかく資材がない。注文もできない。価格は一方的に上がる。現場での会話は「ホルムズ海峡早く通せ」「ナフサはあるって言うけど全然材料来ないよね」など。明日には仕事がなくなるかも、と冷静さを失いパニックに近かったと記憶している仲間も多いと思います。同時に感じたのは、情勢の変化をみんなよく見てたこと。「世界で起きている戦争が日本の建設業にこんな悪影響を与えるとは思わなかったなあ」「誰かアメリカ止めて来いよ」なんて言葉も飛び交っていました。間接的に影響を受けたところでは、事業所訪問で聞いた話が印象的でした。資材が来ないことで足場の解体が遅れ、新規の足場架けと重複するため人員確保が大変という話を聞きました。ただ、情勢的に仕方ない、という感じで冷静な受け止めも聞かれました。現場が動き出せば大丈夫だろうという分析があったのかもかもしれません。ほぼ影響がなかった仲間からは「順調に現場や仕事が進んでよかった」「戦争はよくないけど生活は特に変わらないの」という声が多く、普段の状態がいかに平和かわかる結果でした。

9月に入り資材調達はかなりスムーズになってきました。それと同時に、この半年は何だったんだろうと思ひ、そして通常時(以前の状態)がどれだけ平和で幸せなんだろうと思うことが増えました。材料はあるのが当たり前で注文すれば翌日には入る。値段は少しずつ上がってきてるけど想定範囲内。現場が止まるなんてコロナ禍の時くらいでその時ですら現場は少しずつ動いていたし。そのすべてが日本が直接関わったわけではない「戦争」でガラッと変わったわけです。少なくとも40年生きてきた自分にとっては信じられなかったし、どこか「対岸の火事」で見ていたと思ひました。「平和ボケ」とよく言われますがまさにそうだなと。少なくともこの半年間は非常に苦しい思いをしたし、考え方は変わりました。あたりまえだった「平和」を今まで以上に希求し、誰も争いなんかで悲しませてはいけない。仕事が今まで通り不自由なくできるように、平和な時間を追い続けたい。今回のアンケートにはそんな思いがあふれていたように感じました。

(田中承宏椎名町分会教宣部長)

熊と共生の道を歩んでいける日がくることを願って

間辺美恵子通信員 南池袋分会

今、日本各地に月の輪熊が突然の大量出没、といった熊になにが起きているのか、毎日のように熊に襲われて怪我をしたという人身事故のニュースがテレビや新聞で報じられ、人の生活圏が脅かされる事態となっています。本来、本州に生息する月の輪熊は、雑食性で森林に住み、主要な餌は木々の新芽や木の実であることが知られています。ではなぜ人里に出てきたのか。昨年の秋は主要な餌であるブナの実やドングリが不作

であったことが背景にあったのかも知れません。しかし、他にもいくつかの要因が重なり合って起こったと考えられます。熊の変化は人間の生活の変化に対応しています。中山間地域ではかつては大勢の人が山仕事に携わっていましたが、ガスや車が復旧した現在、山仕事がなくなり、中山間地の人口減少が止まりません。学習能力の高い熊は、人間の生活の変化を見逃しません。葉や

柿を食べる人里に出てきても追い払われる機械が少なくなり、里山が餌場として使われることを学習し、さらに餌を求めて街中へと出没、人間社会の変化が本来自然の中で暮らす熊との境界線をあいまいにしています。森が豊かになれば再び熊は山中に戻っていくと予想されます。生易しいことではないと思いますが、熊と共生の道を歩んでいける日がやってくることを願って止ま

せん。里に降りてくる熊を片っ端から駆除しては、月の輪熊がいつしか絶滅に向かっていった状態を起こしかねません。本来熊の生息地である森林の環境を改善し、環境収容力を上げていくことが国の責任です。対策が進み、森が豊かになれば再び熊は山中に戻っていくと予想されます。生易しいことではないと思いますが、熊と共生の道を歩んでいける日がやってくることを願って止ま

秋の拡大取り組み

上池袋本町分会 日曜日行動



9月13日 日曜日、分会センターに10時集合し、訪問に行く予定でしたがアポが取れず、午前中は、大塚方面に残っていたチラシを男性陣が配りました。女性陣は、名簿の確認と電話掛けをしました。電話もなかなかつながりませんでしたが、1件だけ話しができて、後日会う約束ができました。これまでは雨の日が続く、思う様に拡大行動ができませんでした。9月30日、さくら分会の澤田常任が、上池袋本町分会のオルグに入り、3群の西澤正幸さん宅に一緒に行く事になっています。会える事を期待しています。

(大嶋清子 上池袋本町分会教宣部長)

教宣学校+合同分会5役会議

日時 11月11日(水) 19時 **場所** 支部3階

参加対象 分会5役・分会教宣部長・教宣通信員・女性の会、豊寿クラブ機関紙担当者

教宣学校講師 向井光也先生(元本部機関紙編集長)

教宣部では、合同5役会議と教宣学校の同時開催を提起しました。これは、支部・分会役員にも積極的に記事を書いてもらいたいと、分会役員たちの教宣学校への参加を決めた際に、せっかく分会役員たちが集まるのだから、合同5役会議を開催して、最近おざなりになりつつある分会5役会議について再度見なおすべきでは、との意見が出されたことからでした。

東京土建本部は分会4役を提唱していて、分会5役というのは豊島支部独自の指針です。組織部長を加えることで組織人数(拡大)、財政の流れをしっかりとつかむ意図があるのだと思います。なので、分会5役会議は支部執行委員会で決まった議案を各専門部長や群長にわかりやすく伝えるためにとても重要です。しかしながら、分会5役会議は開催されていない分会も多い現状から、記事書き学習会と同時に全分会合同で5役会議を開催し、他分会のやり方や進め方などを学習することで分会の活性化を図りたいと思います。全分会の分会役員が集合する会議はほとんどありません。役員同士の経験を共有すると同時に分会新聞の記事書きにも寄与するはずで、大勢の分会役員の参加をお願いします。

秋の拡大キャンペーン

公式LINEに登録または未加入者をご紹介いただいた方。または、登録しているLINE公式アカウントからお申込みで、抽選で豪華賞品が当たります。

- 1位 アマゾンギフト券3万円×3本
- 2位 東京ディズニーリゾートペアチケット×2本
- 3位 高級焼肉店お食事券1万円×3本

どうせ当たるわけないとみんな登録しないので、当選率が非常に高くなっています。

詳しくは右下QRコードからお申込みください。

応募資格

豊島支部組合員とその配偶者、新加入者

応募方法

豊島支部公式LINEかHPにアクセスして、応募フォームに入力の上、ご応募下さい。

応募期間

8月27日～10月30日17時まで。

当選発表

厳正なる抽選の上、当選連絡をいたします。



女性の会

秋の拡大出陣式・ランチ交流会

超過達成
目指します!

9月4日(金) 11時より池袋西口の「Cafe&Bal No.8co」で32人の参加で開催しました。

竹鼻会長の挨拶の後、来賓の本部主婦の会海老沢組織部長、大平常任の挨拶があり、拡大目標達成と本部主婦の会60周年記念式典とミニフェス開催への参加の要請がありました。

南池袋分会の間辺さんの乾杯の音頭でランチ会が始まりました。楽しくおしゃべりしながらの交流とビュッフェスタイルの食事を楽しみました。

秋の拡大行動の決意表明を各分会が発表し、「目標人数より超過達成を目指します」と力強い発言がありました。今回、拡大訪問のグッズはタオルホルダーで今までの分会ごとのグッズではなく、豊島支部女性の会で統一されました。

竹鼻会長より8月の活動報告とこれからの予定が発表され、最後に司会のさくら分会の西村さんの発声で、「拡大目標達成、団結してガンバロー」とみんなで声をあげ終了しました。

(新井睦子 南池袋分会教宣部長)

